

## &lt;第1回推進会議における決定事項と対応状況等&gt;

項目	対応状況等
①常任委員会審査時間の確保と充実  ②委員長口頭報告の簡略化	議長への申し入れを行い、第2回定例会から運用開始に向け、議長より各常任委員長へ指示がなされた。 ①常任委員会審査時間の確保と充実 常任委員会における執行部説明を分割し、その説明ごとに質疑を行い、その後、他所管事務に関する質疑を行うことで、審議の活性化や質疑時間確保を図っていく。 ②委員長口頭報告の簡略化 委員外議員が意思決定をする際の判断資料として必要な情報を提供できる範囲内で、議案名と内容の説明について重複する部分の省略や、類似する議案はまとめることなどにより、報告の簡略化を実施する。

## &lt;委員質疑・意見等に関する現況等&gt;

発言委員	発言要旨	現況等
長谷川 重幸 委員	①議会基本条例における災害対応関連の改正にあたっては、大規模災害時の行政における指揮命令は、専門性を有する執行部が行い、議会は、現場の声を聴取して、県や国に届けていくなど、役割分担を整理していく必要がある。 ②今回の検討テーマにもあるが、委員会審議活発化に向け、例えば2日間、あるいは3日間など、より議論を深め審議を充実していく工夫も必要と考える。	①今後推進会議において議論される事項。なお、既に議会会議規則に基づく「県議会災害対策会議」が設置され、その災害時の情報収集や共有、県への要望等に関する協議を行うなど、役割の整理等は行われている。 ②今後推進会議において議論される事項。
江尻 加那 委員	①議員提案条例の提案は、定例会の閉会日に提出されることが慣例となっており、委員会付託も省略されているが、できるだけ前倒して提出され、委員会に付託し、委員会などで議論できるようにすることはできないか。	①議員提案条例は定例会の最終日に提案されており、会議規則第38条第3項による委員会付託省略の議決により、提出者の説明を経て直ちに本会議で議決されている。 ・直近の事例：「県災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例」 【R2-4 定閉会日 (R2.12.15) 提案、同日議決、R2.12.18 施行】 「茨城県主要農作物等種子条例」 【R1-4 定閉会日 (R1.12.20) 提案、同日議決、R2.4.1 施行】
玉造 順一 委員	①常任委員会や特別委員会等についても、本会議や予算特別委員会と同様の配信方法を検討願いたい。 ②子育てをしながら議員を務めていける、議会として女性議員が活動しやすい受け入れ体制の整備や、県議会と市町村議会とが協力して、県内における女性の政治参画を高めるための方策についても検討願いたい。	①今後推進会議において議論される事項。 ②全国都道府県議会議長会の「標準会議規則」がR3年1月に改正され、議員の欠席事由に「育児」「介護」「産前産後」等が位置付けられたが、本県議会では、改正以前より「育児」「介護」を対象としているほか、「家族の看護、弔事」や「配偶者の出産補助」など、独自の規定を設けている。
高崎 進 委員	①委員長口頭報告の簡略化について、座長一任であるが、審議の内容等が一般の方にもわかるような、丁寧な報告がよいと考える。	①委員長報告の簡略化については、委員外議員の意思決定の際の判断材料となるよう、また、傍聴者などにもわかるよう審査の過程などは従来通り報告し、議案名やその内容の説明について、重複する部分の省略や、類似議案はまとめることなどの方法により簡略化する。